

SMFアート寺子屋2015

アートプラットフォーム形成の ためのメタデザインⅢ

Vol.1: 同心円的空間モデルと 住・衣・食

2015年10月4日(日) 13:00-17:00

埼玉県立近代美術館 3階 講座室

入場無料 定員40名 先着順 (事前申込不要)

パネリスト: 青山恭之(建築家・SMF運営委員) 石上城行(彫刻家・SMF運営委員) 柴山拓郎(作曲家・SMF運営委員)

Vol.2: ヘンテコ音楽の社会化 ～音の脱衣～

2015年11月1日(日)

13:00-17:00

埼玉県立近代美術館 2階 講堂

入場無料 定員50名

先着順 (事前申込不要)

パネリスト: 古川聖(作曲・東京芸術大学先端芸術表現科教授)

沼野雄司(音楽学・桐朋学園音楽大学教授)

中野昌宏(社会哲学/認知哲学・青山学院大学総合文化政策学科教授)

スペシャルゲスト: マイク・クベック(SuperDeluxeエグゼクティブプロデューサー
/ディレクター)

コーディネーター: 柴山拓郎(作曲家・SMF運営委員)

Vol.3: 北浦和食堂 プロジェクト

2015年12月6日(日)

13:00-17:00

埼玉県立近代美術館

3階 創作室 入場無料

定員40名 先着順

(事前申込不要)

事前調査報告会&ワークショップ

パネリスト: 増田拓史(美術家・前橋食堂などプロジェクト多数) 北浦和の家庭料理エキスパートの皆さん

コーディネーター: 石上城行(彫刻家・SMF運営委員)

主催: あなたとどこでもアート実行委員会 / SMF(Saitama Muse Forum) / 埼玉県立近代美術館

協力: 作曲・音楽文化研究室(東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系)、うらわ建築塾、埼玉大学教育学部芸術講座石上研究室

問合せ: Vol.1 e-mail: atl-ring@mx3.mesh.ne.jp Tel. 048-822-3894(青山恭之)

Vol.2 e-mail: takuro@mail.dendai.ac.jp Tel. 049-296-5572 Fax. 049-296-5311(柴山拓郎)

Vol.3 e-mail: fzzz@meil.saitama-u.ac.jp Tel. 090-5264-4335 Fax. 048-858-9299(石上城行)

あなたとどこでもアート実行委員会事務局(埼玉県立近代美術館内)

e-mail: SMF.info@artplatform.jp Tel. 048-824-0110(大越、五味、中村)

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://www.artplatform.jp>

SMFアート寺子屋2015 アートプラットフォーム形成のためのメタデザインⅢ

SMF(サイタマ・ミュージズ・フォーラム)は、埼玉県内の5つの芸術・文化拠点(入間市博物館アトリオ、うらわ美術館、川口市立アートギャラリーアトリア、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館)と、建築家、現代美術家、モダンダンサー、現代音楽作曲家、俳人、詩人などのアーティストや、美術教員、美術館/博物館学芸員たち、アートを通じた地域活動を展開する様々な市民によって構成されている集団です。多彩なメンバーがそれぞれのスキルやビジョンを持ち寄り、アートを軸としたプラットフォームを形成することを目的とした活動を2008年より行っています。その過程で多くの交流が生まれ、いくつかのアートイベントが県内に定着しつつあります。

SMFでは2014年度から2016年度にかけて、「住・衣・食」をテーマとした取り組みを展開しています。この「住・衣・食」という順序は、単に「衣食住をアーティストックに彩る」のではなく、人間を取り巻く環境を外側(住→衣)から中心(食)に向けて掘り下げるための構成となっています。SMFアート寺子屋2015は、「同心円の空間モデルと住・衣・食」「ヘンテコ音楽の社会化～音の脱衣～」「北浦和食堂プロジェクト」の3つのテーマから、今を生きる私たちにとってのアクチュアルなアートの在り方について考え、アイデアやビジョンを共有する為のフレームです。多くの皆さまの御来場をお待ちしております。

Vol.1: 同心円の空間モデルと 住・衣・食

2015年10月4日(日) 13:00-17:00 埼玉県立近代美術館 3階 講座室
入場無料 定員40名 先着順(事前申込不要)

パネリスト: 青山恭之(建築家・SMF運営委員) 石上城行(彫刻家・SMF運営委員) 柴山拓郎(作曲家・SMF運営委員)

SMFの3年間のテーマは、「住・衣・食」です。それらを別々に捉えるだけでなく、ひとつのテーブルの上に位置づけられないかと考えていた時、思い当たったのが、「同心円の空間モデル」です。「食」は身体に関わり、身体を包むものとして「衣」があり、その外側のおおいとして「住」があります。中心に自己(無意識)をおいて、その外側に同心円的に幾層にも重なって広がっていく空間の関係を、都市や宇宙にまで広げてみることで、アートの今日的な問題についてパネラーと会場にいらした皆さん全体で議論したいと思えます。

Vol.2: ヘンテコ音楽の社会化 ～音の脱衣～

2015年11月1日(日) 13:00-17:00 埼玉県立近代美術館 2階 講堂
入場無料 定員50名 先着順(事前申込不要)

パネリスト: 古川聖(作曲・東京芸術大学先端芸術表現科教授)
沼野雄司(音楽学・桐朋学園音楽大学教授)
中野昌宏(社会哲学/認知哲学・青山学院大学総合文化政策学科教授)
スペシャルゲスト: マイク・クベック(SuperDeluxeエクゼクティブプロデューサー/ディレクター)
コーディネーター: 柴山拓郎(作曲家・SMF運営委員)

しばしば「難解な音楽」として受け止められがちな「現代音楽」は、1900年代初頭、それまでの「音楽」から大きく逸脱した表現へと変貌する過程で現れました。しかしその表現は本当に「難解」なのでしょうか。SMFが過去に実施してきた、コンピュータを使って「現代音楽」を作るワークショップでは、多くの参加者の方々が「難解な音楽」を楽しんで作りました。「現代音楽」の表現をより多くの人々と共有していく意味を、パネラーの皆さん、会場の皆さんとのディスカッションを通して考えていきます。

Vol.3: 北浦和食堂プロジェクト 事前調査報告会&ワークショップ

2015年12月6日(日) 13:00-17:00 埼玉県立近代美術館 3階 創作室
入場無料 定員40名 先着順(事前申込不要)

パネリスト: 増田拓史(美術家・前橋食堂など食をテーマとするアートプロジェクトを多数実施している)
北浦和の家庭料理エキスパートの皆さん
コーディネーター: 石上城行(彫刻家・SMF運営委員)

今年の9月に美術家 増田拓史さんが北浦和に滞在して調査した街の家庭料理のレシピの報告会と、「トワダ・キッチン・チャンネル+和田市現代美術館2015」など近年の活動を体験するワークショップを実施します。食を通じて露わになる街の姿は、中山道の往来を想起する江戸の気配か、はたまた埼玉都民の心の叫びなのか。食の向こう側に偏在する歴史の影と文化の瞬き、そこにアートが加わっておこる化学変化を見届けに来てください。当日は、調査を通じて得たレシピの中から数品の再現を試みる予定です。